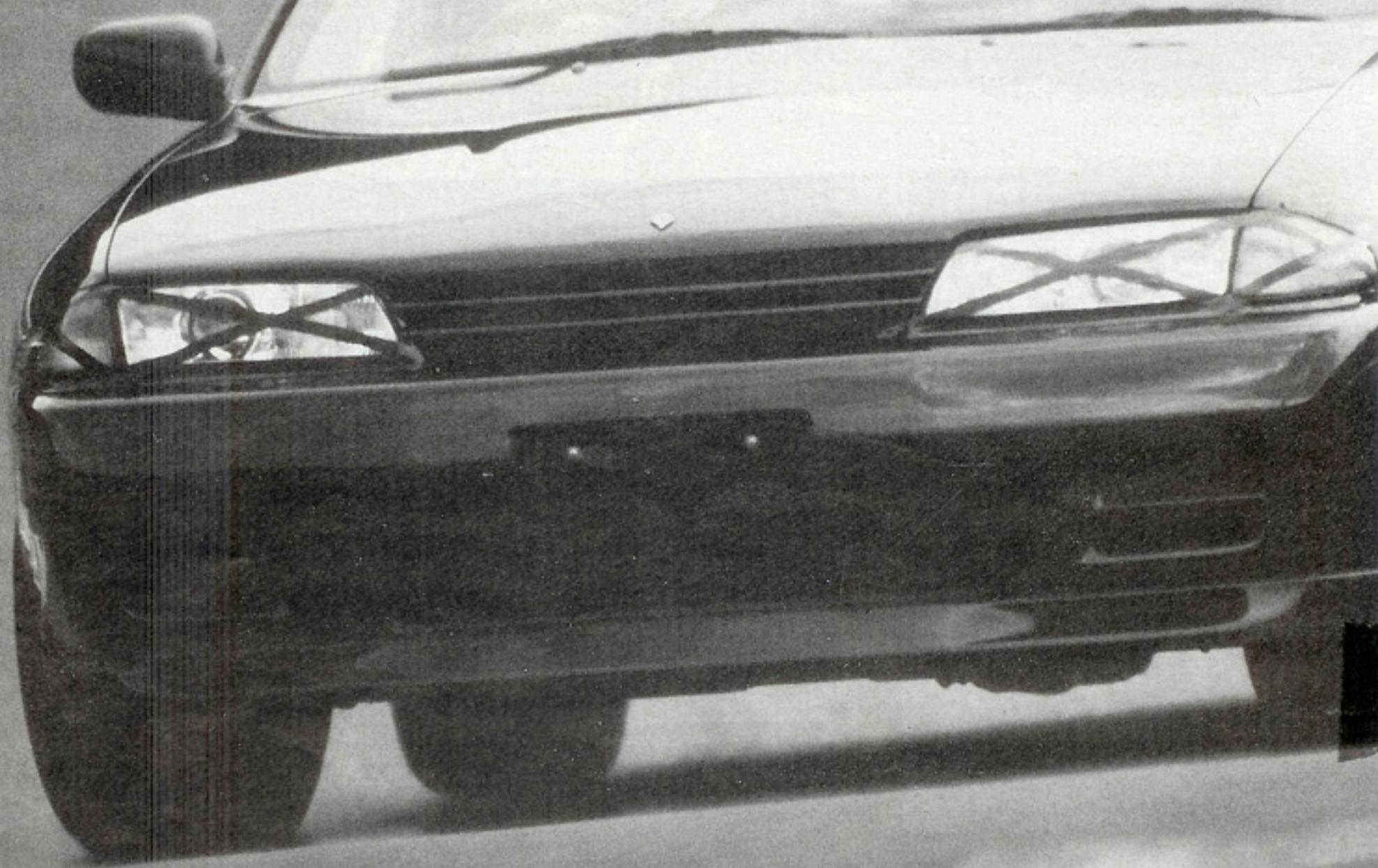


GT-Rの“足”を極める

トライアル☎0722-54-7039



GT-Rは速くってスポーツするには十分なクルマなんだけど、ノーマルの足に不満を持つ人が多いんだよね。アンダーが強い、ブレーキが効かない……。エンジンのパワーを最大限に引き出せる足が要求されているのだ。そこで現在、トライアルがT1サーキットでテストを重ねゴキゲンな足を開発中だ。

現在、各メーカーからいろいろなGT-R用サスペンションキットやブレーキシステムが発売されているよね。どのパーツもそれぞれの味つけが施され、曲がらない、止まらないというGT-Rの弱点である足回りの機能性が高められている。

トライアルでもこれまで各車種のサスペンションキットやブレーキパッドを発売してきたが、現在T1サーキットを使ってGT-Rのテストが繰り返されているのだ。

ノーマルのGT-Rはアンダーが強く、重いボディのためすぐにブレーキがタレてしまう。もっとコントローラブルなサスペンションキットに踏んだら踏んだだけ効くブレーキがあれば、GT-Rならではのモアスポーティな走りが引き出せるはず。

テスト車両のGT-Rはニスモタービン改、オリジナルコンピュータ、EVC(過給圧1.1kg/cm²)、パワーフロー、アルティア80φマフラーというオーソドックスなチューニングが

施されている。タイヤはレーシングラジアルRE610S。というのも、このタイヤでニュートラルのセッティングがとれれば、グリップ力の劣るストリートラジアルでは理想的な弱アンダー気味になるからだ。

トライアルサスペンションキットはビルシュタインの減衰力を変更したショックにF9.5kg/mm、R8.5kg/mmのコイルスプリングからなる。車高は5段調整により若干ダウンした状態にセットされている。テストド